

国内・海外拠点の環境への取り組み

国内・海外主要拠点では、省エネルギー対策をはじめ、持続可能な社会づくりに向けた各種取り組みを行っています。

国内拠点



■ 本社 〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

カシオグループで初めてBEMS[®]、水蓄熱槽が本社ビルに採用されました。同一規模・仕様の建物と比べて、100万kWh/年間の省エネが実現でき、これをCO₂に換算すると、約400トン/年間の削減になります。また、地方の小・中学生を中心に会社見学を積極的に受け入れたり、同ビルを地域住民のための防災訓練拠点として提供しています。

※BEMS: (Building and Energy Management System)の略で、ビルの設備、環境およびエネルギーを管理するシステムのこと。



■BEMSで管理中

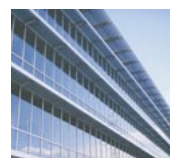


■ 八王子技術センター 〒192-8556 東京都八王子市石川町2951-5

主に各種デバイスの開発拠点となっています。2003年暮れに新設された建屋においては、BEMSを採用し、夜間電力を使って空調する水蓄熱槽の設置、日射に応じて自動開閉するブラインド、断熱用二重窓ガラスなどの採用により、同一建物面積比で約35%の省エネを実現できるシステムを設置しています。



■日射に応じた自動開閉ブラインド



■二重ガラスによる断熱



■ 山形カシオ 〒999-3701 山形県東根市大字東根甲5400-1

時計・携帯電話の生産および成形事業をしています。エレクトロニクス機器事業の中では、カシオグループでも最大のエネルギーを消費していますが、コジェネレーション導入により、2003年度には1990年度比生産高原単位で約65%の省エネを実現しています。また、廃棄物もリサイクル・リユース重視の処理方法と委託業者見直しにより2003年度ゼロエミッションを達成しました。

Web参照 <http://www.yamagata-casio.co.jp/>



■コジェネレーションシステム

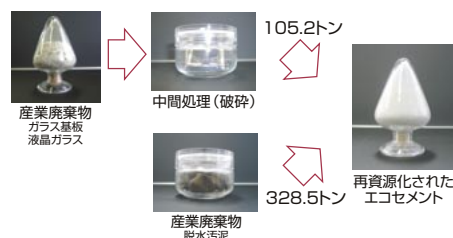


■ 高知カシオ 〒783-0062 高知県南国市久礼田2420

TFT液晶表示生産が24時間稼働しています。カシオ全体のCO₂排出量の38%を排出していますが、2001年度エネルギー管理優良工場(電気部門)資源エネルギー庁長官賞を受賞するなど継続的に省エネ活動を行っています。また、廃棄物のエコセメント材料化など「守ろう自然きれいな水とおいしい空気を次世代へ」の理念を掲げ、環境保全対策に取り組んでいます。

Web参照 <http://www.k-casio.co.jp/>

■高知カシオのエコセメント材料化概要



海外拠点



■ カシオタイ Casio (Thailand) Co.,Ltd 60/70 Moo 19, Klong Luang Nava Nakorn Industrial Estate Pathum thani 12120,Thailand

カシオタイでは、1998年より時計生産を始め、ソーラー電波等さまざまな新しいタイプのウォッチを累計で約1,600万台出荷しています。鉛フリーはんだへの対応は、現在40%であり、2004年度にはすべてのモデルへ対応する見通しです。

工場内では廃棄物の削減に取り組んでおり、分別廃棄を徹底することでリサイクルによる再資源化を進めています。また従業員に対する安全衛生にも力を入れており、労働安全衛生教育を定期的に行い、効果を上げています。



■労働安全衛生教育

Web参照 拠点別のパフォーマンスデータはWebサイトにて、ご覧ください。 <http://www.casio.co.jp/env/>